

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
鍼灸科											
リハビリテーション医学1											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	鈴木哲郎			実務 経験	有	職種	医学博士				
授業概要											
鍼灸師として必要なリハビリテーションの知識、方法について学ぶ。現在では広い意味でのリハビリテーションに関わることが多くなってきている。単に疾病に対する治療だけではなく、障害から社会復帰までの知識や技術を身に付けることを目的とする。病院との連携に必要なリハビリテーションに関する知識や用語を理解することを目的とする。											
到達目標											
リハビリテーションの目的は「人間らしく生きるための権利の復権」と言える。そのためには、医学的、教育的、職業的、社会的な分野に分けている。その中で特に医学的リハビリテーションを扱うが、リハビリテーションの全体の関連性を把握して学ぶことが重要である。従って、前期はリハビリテーションの理念、リハビリテーション医学の理念と方法を中心に授業を進める。											
授業方法											
講義方式で行う。黒板に授業の要点を板書をするので、板書したことに加えて、講義を聴きながら自分なりに説明等を加えてノートをとるようにすること。授業後ノートをみて復習すること。また、授業の終わりに、次の講義で扱う教科書のページおよび内容を伝えるので教科書を読み予習をする。											
成績評価方法											
期末試験（筆記試験）。											
履修上の注意											
授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。											
教科書教材											
学校協会指定教科書医歯薬出版リハビリテーション医学											
回数	授業計画										
第1回	リハビリテーションの理念										
第2回	障害の捉え方、リハビリテーションの分野、地域リハビリテーション										
第3回	リハビリテーション医療の概念										

第4回	障害の評価1. 機能・形態障害の評価（国際生活機能による分類）
第5回	障害の評価2. 活動および活動制限、参加および参加の制約の評価
第6回	障害の評価3. 合併症（廃用症候群）の評価、運動麻痺の評価
第7回	障害の評価4. 運動年齢テスト、失行失認テスト、心理評価
第8回	医学的リハビリテーション1. 理学療法（運動療法）
第9回	医学的リハビリテーション2. 理学療法（物理療法）
第10回	医学的リハビリテーション3. 作業療法、言語聴覚療法
第11回	医学的リハビリテーション4. 言語聴覚療法
第12回	医学的リハビリテーション5. 装具療法と義肢
第13回	医学的リハビリテーション6. リハビリテーション看護、ソーシャルワーク
第14回	脳卒中のリハビリテーション（1）
第15回	脳卒中のリハビリテーション（2）